

平成24年度第2回 学生 - 教員懇談会報告

会議期日：7月31日（火）13：00～14：30

場 所：大会議室

参加者：

- (1) 教職員：副学長、学部長、教務部長、厚生部長、学生部長、事務長、学生課長（書記）
- (2) 学 生：学友会クラブの代表者 計17名（内訳：学術系7クラブ、体育系10クラブ）
休部：1クラブ（剣道部）

テーマ：学友会活動について

1. 「クラブ活動のプラス面」と「クラブ活動の問題点」について意見を求めた。最後に2. 「その他の事項」として各部の懸案事項等の質疑応答を行った。

1. プラス事項、マイナス事項

クラブ名	プラス面	問題点	問題点への対応
学術部	先輩・後輩の交流等、人間形成	部室が不衛生、また、トイレの清掃等がなされていない。	使用頻度を把握すると共に必要に応じ清掃担当者の派遣を検討する。
茶道部	茶の道に通じた人間形成、他大学との交流による学生生活等に関する情報入手（九大・福大など）	① 入院・治療に際しての出席日数の不足対応など救済システムの構築（ワンダーフォーゲル部の質問に同調） ② クラブの運用経費が少ない。せめて、先生の「お稽古代金」は、大学で負担して欲しい。	①学則に基づくものであり対応は困難と思われる。 ②現在福大と調整して福大の運用実態を把握しており、それを適用したい。今年度から予備費的な額として4500円/1人のクラブ援助費以外を学友会総務委員会に配分するので、それを、他のクラブと競合して取得すること。
コーラス部	先輩・後輩の交流等、人間形成	練習場が音響室であり空調設備の設置を希望します。	現在、厚生会館体育館は入学式・卒業式等学校行事に際し、空調設備が無く、対応に苦慮している状況にある。空調設置計画ができた段階で対応するように考えている。
マンドリン部	先輩・後輩の交流等、人間形成	特になし	
写真部	先輩・後輩の交流等、人間形成	部室のトイレ清掃がなされていない。	使用頻度を把握すると共に必要に応じ清掃担当者の派遣を検討する。

クラブ名	プラス面	問題点	問題点への対応
植物研究部	先輩・後輩の交流、薬大祭への参加等、人間形成および情報入手による試験対策。	部活に関する不安は無い。但し、薬草園は荒れ放題など施設管理に対する手当ての必要性を感じる。	営繕課・生薬分野で検討する。
軽音楽部	先輩・後輩の交流、薬大祭への参加等、人間形成	練習場が音響室であり空調設備の設置を希望します。部費については、楽器の部品等は個人で負担しているので別に問題はない。	現在、厚生会館体育館は入学式・卒業式等学校行事に際し、空調設備が無く、対応に苦慮している状況にある。空調設置計画ができた段階で対応するように考えている。
野球部	先輩・後輩の交流等、人間形成	ボール代金など運用経費が少ない。部費の配布枠を拡大して欲しい。	今年度から予備費的な額として4500円/1人のクラブ援助費以外を学友会総務委員会に配分するので、それを、他のクラブと競合して取得すること。
柔道部	この時間、未出席	この時間、未出席	
卓球部	先輩・後輩の交流等、人間形成および他大学と交流による学生生活等に関する情報入手	クラブの運用経費が少ない。部費の配布枠を拡大して欲しい。	今年度から予備費的な額として4500円/1人のクラブ援助費以外を学友会総務委員会に配分するので、それを、他のクラブと競合して取得すること。
弓道部	計画的な練習・試合等の時間設定により安定した生活リズムを構築出来ること。及び、先輩・後輩の交流等、人間形成	クラブの運用経費が少ない。部費の配布枠を拡大して欲しい。	今年度から予備費的な額として4500円/1人のクラブ援助費以外を学友会総務委員会に配分するので、それを、他のクラブと競合して取得すること。
バレー部	先輩・後輩の交流等、人間形成および各先生方の授業のやり方などの情報が入手できる。	ボール代金など運用経費が少ない。部費の配布枠を拡大して欲しい。	今年度から予備費的な額として4500円/1人のクラブ援助費以外を学友会総務委員会に配分するので、それを、他のクラブと競合して取得すること。

クラブ名	プラス面	問題点	問題点への対応
軟式庭球部	先輩・後輩の交流等、人間形成	ボール代金など運用経費が少ない。	今年度から予備費的な額として4500円/1人のクラブ援助費以外を学友会総務委員会に配分するので、それを、他のクラブと競合して取得すること。
硬式庭球部	1回/月のOB戦等を通じた先輩・後輩の交流等、人間形成	ボール代金など運用経費が少ない。	今年度から予備費的な額として4500円/1人のクラブ援助費以外を学友会総務委員会に配分するので、それを、他のクラブと競合して取得すること。
バスケ部	先輩・後輩の交流等、人間形成およびOBとの交流による就職情報等、各種の情報入手	試合等の遠征費がない・・・大学保有バスの運用は出来ないのか。	大学保有バス制度はなくなった。従って、必要に応じ第一高校と調整して借用することになる。従って、早めに学生課に申出ること。
ワンダーフォーゲル部	自分の病気(鬱)に対応して野外活動を行うことにより治癒効果があること。及び人の動かし方など学べるところが多い。	①4月～6月体調不良で出席日数不足により前期定期試験を受験できないようになるところだったが最終的に受験できた。このような出席日数不足などを救済できるシステムは構築できないのか。 ②ワンダーフォーゲル活動に対する保険適用の範囲が解らない。	①学則に基づくものであり、それなりの理由があつての処置である。 ② ○学研災で適用できる範囲(クラブ活動として行動する申請書を提出した場合適用する。 ○補償対応 クラブ活動に際しての傷害補償は、14日以上の治療回数が必要 ・14日に該当しない者の補償は、初診料のみ大学が負担する。 *前、ア・イ以上の補償を求める場合は、対象日等を定めた、通例一時的な「スポーツ傷害保険」に加入すること。
サッカー部	先輩・後輩の交流等、人間形成および人の扱い方を学べる。	遠征費など、部費の負担が大きい。部費の配布枠を拡大して欲しい。	今年度から予備費的な額として4500円/1人のクラブ援助費以外を学友会総務委員会に配分するので、それを、他のクラブと競合して取得すること。

2. その他の事項

- (1) 平成 24 年度予算を一度作成・呈示した後にクラブ員の W 配置を点検・修正する等、クラブ所属人員の修正を行ったのは何故か。

解答：本年度以降、委託徴収金（学友会費）を基礎に予算配分を行うので、学生一人一人が年間に支払う金額（6,000円/1人）、及び、運用予算の限度額（200万円/年間）から、委託徴収金額（学友会費）の範囲では、クラブを掛け持ちしている人員の予算配分額を有しない。

- (2) いろいろな総務委員会の情報、学生部の統制等がクラブ員のそれぞれの手元に届かない。

解答：まず、学生部は学生部として、学友会総務委員は学友会総務委員として、目一杯動いていることをご理解頂きたい。それと「学友会組織」は「学生自らで作上げるものであり」従って、逆説的に「学生さん自らが」学友会組織の中で入り込んでくる姿勢でいて欲しい。②現在、学生課サイドで「平成 24 年度予算配分の積算及び配分のための事務手続を行っている」が、振込の「口座番号が一括入手できない」等、意思の疎通が出来ていないことを踏まえ、「カフェテリア横の C 掲示板（学友会掲示板）」に連絡コーナーを設ける等、デッドラインを設けた業務を行うようにする。

- (3) 卓球部室まえの「ベランダでの喫煙」の排除

解答：近々に「喫煙に関する罰則規定」を設けて喫煙を排除します。

- (4) (学部長 Q) クラブで活動する位置づけを皆さんはどのように考えていますか。

(学生解答) 部活は「息抜き」と捉えています。

学部長コメント：

本学のような単科大学のクラブは、総合大学のクラブとはおのずと異なるものと考えます。とくに、本学は薬剤師養成を目的とした大学ですから、スポーツ人を育てることが本業ではありません。その点を踏まえて、大学生という自由人の立場を活かし、クラブ活動を通して豊かな人間形成を心がけて頂きたいと思います。